

## ヴァイオリン 伊藤実知子(いとう・みちこ)

3歳よりスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。

8歳よりピアノを始める。

東京音楽大学 器楽科 ヴァイオリン専攻卒業。

各プロオーケストラに参加、アマチュアオーケストラの指導にもあたる。

スタジオワーク、イベントプロデュース、演出など幅広く活動。

また、小中学校の子供たちの合唱とのコラボレーション活動が関係者から好評を博している。

ドイツ・エンガースにおいて、チェンバーオーケストラ・マスタークラス修了。

岐阜市民芸術祭『フルーツの花束』にてソリストとして選出され、バッハ作曲ブランデンブルグ第4番、第5番を演奏。

『フラワードーム花フェスタ』において、名古屋ドームで演奏。

ホテルアソシア名古屋ターミナル企画『ヴァイオリニスト伊藤実知子プロデュース“ライブの日。”』において4年に渡り出演。

稲沢市企画『明治ふれあいコンサート』において『伊藤実知子とスーパーユニットアンサンブル』の企画・演出・演奏が好評を博す。

オーケストラ・アルテムジカ定期演奏会において、バッハ作曲ブランデンブルグ第4番のソリストとして出演。

第54回日本細胞学会・秋季大会において演出・演奏。

アンサンブル・リベルタのゲストメンバーとしても活動。

白川町・黒川のシンボル、芝居小屋『東座』での演奏がきっかけで、現在は黒川へ移住。

佐久良太神社 祭典余興音楽三部作を作詩・作曲。

アルテミーノ音楽教室主宰。

ヴァイオリン、ピアノ、リコーダーアンサンブル、ミュージックベル、トーンチャイム指導。